

ジャッジ・スコアラ（ディスタンス系種目）の役割 早見表

	入場時	スタート前後	ラウンド中	フィニッシュ	退場時	※タイムトライアル・ネオ	※BINGO !
メインジャッジ	コート全体を見渡し、障害となる状況がないかを確認。 特に直前にプレーしたチームが完全に退場し、犬が確保された事をチェックする。	チーム（人・犬）の動きとラインジャッジの動作に注意する。 ラインジャッジから遠いサイドのファールにも注意を払う。	キャッチ直後の着地エリアをはっきり指し示してポイントを明示する。 見づらい時や判断に迷う時はサブジャッジのサインを参考に判断する。 迷うジャッジがあった時はそのチームのラウンド終了直後にジャッジ間で確認し、最終判断を下す。	終了の合図とスローイングのタイミングに注意する。 効き手、フォームなどで判断がつきにくい時は、 他のジャッジに確認をして判断を下す。	プレー後のチームがコートから退場したか、犬が確保されたかを確認し、次のチームの入場に備える。	IN・OUT を判断し、キャッチ成功時のエリアを示す 10m→指1本、 20m→指2本 30m→指3本 40m→指4本	ラウンド中は、キャッチ成功時のエリア番号を即座にコールする。
サブジャッジ		ラインジャッジから遠いサイドのファールにも注意を払う。	キャッチ直後の着地エリアをはっきり示す。 （イン・アウト、ポイントエリア）	終了の合図とスローイングのタイミングに注意し、メインジャッジを補佐する。	プレー後のチームがコートから退場したか、犬が確保されたかを確認する。	キャッチ成功のエリアを指し示す	抜かれたエリア番号（1～9）を指で示す。 ボードの該当番号パネルを外す。
ラインジャッジ	競技を終えたチームが犬を確保するか退出するまで、次順のチームにフラッグを示し入場を制止する。 （犬同士のトラブルを防止）	チーム（人・犬）の動きに注意し、それぞれにファールがないかをジャッジングする。 ファールの際は、フラッグを挙げ、対象が人か犬かを指し示す。	ドッグファールがあった際、解消しない場合は犬を指差し、フラッグを挙げ続ける。 各スローイング時のファールがないかをジャッジングする。 また、ショートスローなど、近くのエリアのキャッチはメインジャッジに向けて、指でポイントを示す。	終了の合図とスローイングのタイミングに注意する。 メインジャッジの判定が明らかに異なる場合には速やかに進言する。	ラインに不明瞭な部分があるかを確認し、ジャッジングに影響するような場合はメインジャッジに合図を送り、ラインを引き直す。	スタート時のコールに合わせ、ストップウォッチの操作、ファールの確認を行なう。 フィニッシュライン上を犬の体の一部が通過するタイミングでタイムを計測する。	通常のディスタンス競技に準ずる。
MC	順番が解りやすいよう、エントリーNo.を織り交ぜてコールする。 キャンセル等で順番が変わる情報は事前に伝える。	競技開始のタイミングを図る。 プレーヤーの準備に配慮しつつも円滑に運行できるよう心掛ける。	メインジャッジがポイントを示した後にポイントをコールする。 ラインジャッジのファールのサインに気づいたら、コールして良い。	終了の合図があった際のメインジャッジの判断に注目し、最終投が有効か否かをコールする。	各ジャッジの動きに注目し、次チームの入場を促す。	競技の進行を請け負う。（成功回数・距離等） ラインジャッジがコールしたタイムを復唱する。	メインがコールしたエリア番号を復唱すると同時に、ゲームの進行状況を的確に実況する
スコアラ	入場者の 名前、犬名及び記入欄を確認する。 また、TOTAL ポイント上位チームがわかるように書き記しておく。	記入欄のずれが無いを確認する。 メインジャッジとアイコンタクト等を行い準備ができたことを知らせる。	メインジャッジが示すポイントを確認し、記録用紙に記入する。 ラウンド中に何らかのオフィシャル対応しなければならぬ状況が生じた時は、記録に支障が無いタイミングを見計らって臨機応変に対応する。 （エントリー順の確認や A・B コートの順番のかぶりなど。）	記入ミスがないことを確認しながら、ポイントを即座に算出する。 目でもう一度確かめ算をする。 この時順位がわかる様だったら即座に MC と連携をとる。	次のチームの記録準備及び直前に終わったチームの現在の暫定順位を把握する。 決勝 R 進出者が決まった場合は決勝 R 用のシートに記入する。	ラインジャッジがコールしたタイムを記録する。	抜かれたエリア番号を確認し、終了時にポイント計算をする。 抜いたエリアのポイントとビンゴポイントを間違えないようによく確認すること。

【備考】

ジャッジング全体の判断はメインジャッジに全権が与えられる。他のジャッジはその補佐を行なう。

競技チーム毎にメインジャッジの立ち位置が定まったら、サブジャッジは異なるエリアに移動する事で広くポイントエリアを判断しやすい体制を整える。

各ジャッジの判断基準等の詳細は Regulation を熟読し、理解しておくこと。特にコートのサイズ（全長）が変わる場合、実施されるコートのポイント基準を予め確認しておくこと。